



社会福祉法人鶴風会

# 後援会ニュース

No.18 (昭和61年)

社会福祉法人鶴風会

## 後援会

東京都武蔵村山市学園4-10-1

☎0425-61-2521

事務所・東京都中野区

本町2-15-13 ☎03-372-7650

後援会ニュース18号をお届けします。

今号は社会福祉法人鶴風会理事長の御挨拶と、東京小児療育病院を御退院の神田明君のお母様の手記を掲載いたしました。

尚、秋のチャリティ・バザールには御支援をお願い申し上げます。



▲ 6月に菖蒲園にハイキング

### 後援会の皆様へ

社会福祉法人鶴風会

理事長 倉島 撰子

一九八六年もはや半ばをすぎました。今年は大変に心打つ出来事の多い年でございます。

天皇陛下御在位六十年記念。七十六年振りのハレー彗星の接近。チャールズ皇太子ダイアナ妃の御来日、東京サミット。衆参議員のダブル選挙と、何んと盛り沢山の行事の多い忘れぬ年になりました。

さて私は当社会福祉法人鶴風会の五月の役員会に於て再度理事長に推薦されました。大変に浅学非才でございますが一生懸命にとめる所存でございます。幸いな事に私は健康に恵まれて六十路を過ぎておりますが自宅では一日中診療に追われ施設にまいりますと法人の仕事に追われ夢中の毎日でございます。前任期中御蔭様で多大の皆々様の御力添えでみどり愛育園の増床に伴う施設の改造整備すべての病棟と外来をむすぶわたり廊下の増設と子供達も職員も動きやすい規模がとれました。また施設長鈴木康之院長のもと、船橋医務部長、長医務科長兼訓練科長、岩崎医師、山田医師と常勤の医師は小児神経の錚々たる方々です。

更に整形外科は東邦大学の御好意・御協力により平沢助教、原田講師が担当され、歯科は昭和大学歯学部障害児歯科御担当の佐々教授の御好意により鈴木助教以下が毎月御見え下さり、医療の充実は見張るものがございます。加えて、パラメディカルの方々が支えとなつて療育はゆるぎないものとなりました。実際に関東の他県の施設で医長をなさつておられる若き医師が私共へ泊りこみで見学にこられました。鈴木施設長以下医師、訓練、心理、言語、児童指導、看護婦、ケースワーカーが一丸となつて、入院児一人一人の特徴をつかみその子にとって何が一番ベターかを、先づ何をせねばならぬかを、理念にもとづく療育の在り方を眼のあたりごらんになつて、深い感動のもとに多くのものを学ばれたと私に素直に感謝感激の御便りがございました。実際に施設へまいりますと底抜けに明るい子供達、清潔さに私も職員に頭が下ります。これから行政面社会情勢もこの仕事を取りまく材料に好転するものがございます。しかし後援会の皆様の善意に支えられて今期も頑張ります。どうぞよろしく御願ひ申し上げます。皆様の御健康と御活躍を祈ります。

# 母と子の二人三脚

神田 悠美



▲ 病院の庭で日なたぼっこ

私共親子が東京小児療育病院に  
お世話になりましたのは十二年程  
前から七年間でした。息子、昭和  
四十七年五月二十六日横浜赤十字  
病院にて出産、分娩所要時間五十  
九時間、体重四一五〇グラム、重症  
仮死二度（重症仮死二度とは脳性  
マヒが分つてから尋ねて明らかに

なつたことでした。）原因は骨盤よ

り胎児の肩の方が広くて出られな  
かつた為とのことでした。保育器  
に三週間入り、脳波は異常なしと  
のことで退院しました。が、五ヶ  
月も経つ頃「どうもおかしい、普  
通ではない。」と感じ地域の医院  
を何軒か歩きましたが「分娩マヒで

しょう。」の診断で

した。でも首もす  
わらず、お座りも  
出来ない、右手を  
強く握つたままで  
した。七ヶ月の頃  
のある日「その子  
肩がおかしいよ。

病院で診て貰つた  
方が。」といわれ、  
何度か通つた緑成  
会病院で脳性マヒ

の診断がくだつた  
のは十ヶ月の時  
でした。どうしたら  
治るのか尋ねる私  
は、本を渡され自  
分で訓練するよう

にといわれました。脳性マヒがど  
ういうものか知らない私には、ど  
うして良いか途方にくれました。  
次に行った神奈川県立小児医療  
センターで脳性マヒらしいという  
診断に通所訓練か入院を申し出ま  
したが断られました。

それから間もなくテレビで知つ  
た脳性マヒ児を守る会での診察で  
やはり脳性マヒの診断があり、訓  
練の為の母子入院があることを教  
えていただき、生後一才一ヶ月で  
整肢療護園に母子入院を致しまし  
た。この入院で私と息子は命を取  
り止めたのでしょうか。踏切に立  
つか、ガス栓をみつめるしかなか  
つた私には同じ立場の親子の中  
に入っていることは生きようとの第一歩  
だったと思います。「五年頑張つ  
てみよう。死ぬのはそれからでも  
遅くない。」と自分にいきかせ、  
一年半の間に二度、母子入院を致  
しました。その間に脳性マヒにつ  
いて、又母親教育をされ、何とか  
歩みはじめました。

退院をし、又人との触れ合いが  
なくなることをおそれ、地域に心  
身障害幼児通所施設があることを  
仲間のお母さんより聞いておりま  
したので通いはじめました。この  
時まだ心はさまざまに揺れ動き人  
目や、人のちよつとした言葉がっ

でも整肢療護園で単独入院を長く  
みていましたし、夜園を逃げ出し  
た児を捜がしたことも経験してい  
ましたので、単独入院させること  
は先づ心配で淋しいし、息子を見  
離す薄情な親のようにも思えて迷  
いました。が「親の勝手な考えで  
子供の伸びる芽を摘んではいけな  
い。息子が大きくなつた時、何と  
言い開きをするのか、出来ること  
は全部しなくては。」と決心しま  
した。そして東京小児療育病院に  
お世話になることになりました。

これが私共を大きく、明るく変え  
て力をつけられたすばらしい道の  
出合いだったと思っております。  
東京小児療育病院に入院した当

時のことを思い出してみますと、  
昭和五十年一月二十四日に入院、  
三日間は少し離れて付添い、引き  
継ぎのように子供の特徴を知つて  
いただき、夜は隣の宿泊棟でやす  
むのですが、息子の泣き声が耳に  
ついて眠れなかつたことが思い出  
されます。そして一ヶ月間の面会  
謝絶は身を裂かれる思いでした。

二ヶ月、三ヶ月と経つた頃、息子  
に変化がみられないので「やはり  
駄目、もう帰ろう」「いやもう少  
し待とう。」と心さわく毎日とし  
た。ところが入院七ヶ月経つた時  
ベッドの中で自分でのつそりとス  
ローモーションをみているかの様  
に座つたのです。訓練が実つたの  
ですね。こんなに嬉しいことがあ  
つたのか、生きていてよかつたと  
これが第一回目と思つた幸せでした。

それからというものの希望をもつ  
ことが出来、明日に向つて毎日が  
楽しくなつてきて、面会に行くに  
も外泊させるにも心から笑顔が出  
るようになりました。

この頃病院の父母会にも参加す  
るようになれました。鶴風会の沿  
革、病院経営の赤字対策、設備改  
良、充実の為の資金繰りに飛び廻  
られる 本明先生・倉島先生にも  
お会い出来ました。そして御一緒  
に父母会員として参加させていた

この頃病院の父母会にも参加す  
るようになれました。鶴風会の沿  
革、病院経営の赤字対策、設備改  
良、充実の為の資金繰りに飛び廻  
られる 本明先生・倉島先生にも  
お会い出来ました。そして御一緒  
に父母会員として参加させていた

この頃病院の父母会にも参加す  
るようになれました。鶴風会の沿  
革、病院経営の赤字対策、設備改  
良、充実の為の資金繰りに飛び廻  
られる 本明先生・倉島先生にも  
お会い出来ました。そして御一緒  
に父母会員として参加させていた

だき、私達の為にこれ程までに暖かい目、暖かい手をさしのべてくださることに触れ、頭張らなくてはいけない、くじけては申し訳ないと心に誓いました。

諸先生方の訓練を受け、冷静に我が子を見守ることが出来るようになって二回目の嬉しさは膝立ち、三回目は膝と手で移動、そして五才のある夜、一人でベッドの中でつかまつて立っていたのでした。それをみつけた看護婦さんは驚き喜んで電話をくださいました。その時の嬉しさは筆舌に尽せない程の感激でした。心の底から先生方、看護婦さん、廻りのすべての方に厚い感謝の念をいただきました。

息子が小学校入学の時は、退院して自宅からの通学を夢みていました。ところが訓練の高野先生より「あと三年預かりたい。いや三年は退院させない。絶対歩くから」とケース会議報告をされ、またもや迷いました。これ以上はかわいそうではまりません。何とか自宅より通院しての訓練をと考えましたが、息子の性格ではそれは歩けないことへのつながりになりかねないと思ひ直し入院を続けることにしました。息子は泣き虫で、訓練を嫌がり、高野先生の一番手のかかる患者だったと思います。

小学校一年・二年と過ぎ三年になつた頃、なかなか歩く気配のない息子をみて、この三年間は無駄になるのではないのかと、息子に申し訳ないように思え心の晴れない日が続きました。そしてとうとう退院の三月になり退院後の準備にお話をうかがいに病院へ通つた日、三月十一日、お友達のクラッチを一本借りて左手につけてみました。クラッチを持ったことが余程嬉しかつたらしく、ピヨコンピヨコンとクラッチをつきながら二メートル以上も歩きだしたので、夢をみているのではないかと目をパチパチ、訓練棟にいらした先生も注目、看護婦さんもとんで来て喜んでくださいました。ニコニコして得意そうな息子の顔がぼやけて見えなくなつていきました。

この七年間、とても淋しくて、心配ばかりの長い年月でした。でも今、社会復帰が出来たのです。

東京小児療育病院での七年間で子供を抱えこんでの、前の全くみえない生活ではなく、先生方の手、看護婦さんの手をお借りし、少し離れた距離から息子、そして自分を見つめ冷静に考えることが出来るようになりしました。この現状を冷静に考えられる日々が今も生活の中にとけ込んでいて、息子の存

在により一層幸せをかみしめています。もし私が息子を唯々可哀そうと抱えているだけだつたら息子に何が出来たでしょう。この出会いを深く感謝して退院することが出来ました。その後も毎週通院して、只今中学二年生になりました。左手をひいて少しのところは歩いて、大好きなバスや電車に乗りに行つたり、野球場へ観戦に行つたり、スクールバスでの通学を喜んで、お互いに我がままいっぱいの毎日を楽しく過しております。又この度は五月に私が子宮筋腫の手術の為、息子を一ヶ月半東京小児療育病院に里帰りのように預つていただきました。息子も病院の皆様になれていて甘えていたと聞きました。

この0才児よりリハビリテーションを行つてくださる病院は、当時日本で唯一ヶ所、東京小児療育病院だけだった由であります。親子ともども心身共にリハビリを受けて今日の幸せがありますことを改めて感謝申し上げます。

これからはもうすぐ突き当たる学校卒業後の進路に立ち向つていかなければなりません。何かと御相談、お知恵を拝借させていただきますよう御願ひ申し上げます。

ここに只今、元氣いっぱい過ごしておりますことを、御報告させていただきます。

ありがとうございます。

## ◆ チャリティ・バザール ◆

61. 10. 26(日) 11.00 ~ 15.00

東京小児療育病院 訓練棟

第10回チャリティ・バザールを開きます。毎年多くの方々の温かい御寄附と多数の協賛会社の御支援により、成果をあげておりますことを心より感謝しております。

食料品・調味料・ウイスキー・石けん・洗剤・玩具・書籍・陶・漆器・文房具・衣料品・手芸品など御寄贈いただけますよう、お願い申し上げます。

- お品物をお送りくださる場合は10月20日迄に到着するようお手配いただけたら幸甚に存じます。
- なお、御連絡いただければ受取りに参ります。早目に御連絡くださいませ。
- 連絡先

病院 東京都武蔵村山市学園4-10-1 TEL 0425(61)2521

後援会 東京都中野区本町2-15-13 TEL 03(372)7650

後援会寄附者御芳名

バザー寄附者をふくむ

六〇・八一六一・三

安藤まさ子・浅利重子・天野まさ子  
青木ゆう・青木よし子・安西美代  
相沢ミツエ・安倍マサ・姉小路和子  
安東敬子・青木 悦・阿部久代  
阿久津絹江・赤川セツ・天沼恭子  
芦立かつ・新井 恒子・新 淑子  
足立嘉子・安康佳寿美・秋葉敏子  
安部良治・赤間てる子・相見豊子  
赤須文男・井上照子・井上瑞穂  
井上洋一・市川高吉・今野信子  
磯村 光・飯国桃夜・伊藤 禮  
板倉玉子・磯サワ子・石川 静子  
五十嵐いづ子・稲垣賢郎・稲垣正子  
石井 昌・伊藤徳子・池田愛子  
諫山高雄・稲葉真理・伊東カメ  
石原 純・伊藤友一・伊藤 正子  
井上裕子・一宮勝也・今野 英子  
井上種子・出井 道・今西昶子  
飯塚治子・居合寿子・飯塚 英子  
石塚通子・伊藤篤子・飯田和成  
今村雅幸・今村容子・飯野龍吉  
石塚敏直・今井まつ江・石崎 満  
五十嵐良典・岩波まつ子・飯塚文子  
石河時子・池田喜久子・一法師素子  
岩間好隆・伊藤徹次郎・上高嘉納子  
白井重三・内ヶ崎仁子・浦田とめ子  
梅原公江・上田 茂・梅田 寛子  
梅澤重一・梅澤美和子・上田美知子  
内田 耕・上木 艶子・梅田 正法  
梅田みほ子・鶴川美登里・上野あつ子  
内田隆治・海老原淑子・荏原光夫  
荏原寿枝・遠藤弘子・江口喜代子  
小川再治・小川昭子・小川 文子

大月富子・大久保秀雄・萩原和彦  
大谷明子・及川 貞・大岡 良子  
岡田孝子・小原 正樹・緒方 月  
大熊進・大熊はつみ・小川 美恵子  
奥田嘉門・織畑秀雄・長田 絢子  
大曲治世・岡田節子・沖津くら  
大隅美智子・小田切弘人・忍足正之  
忍足美代子・岡村シマ子・小口 政子  
小原荘一・大友節子・岡田さと子  
沖永荘一・沖永洋子・小野 巫二  
大田萩枝・小川英子・大日方惟忠  
大橋和男・岡本有子・小田桐信子  
大畑 信子・笠原 克・川合 正雄  
川合朝子・勝見 富美・川島徳生  
釜范登志子・亀谷了・数井まき子  
郭 博文・川路春男・勝田三枝子  
神田敬子・川南サチ・鎌田直子  
金丸 米子・嘉悦敬子・河津 緑  
金森勝子・狩野登志子・片岡敬一  
加藤良治・加藤香代子・川口はるの  
上河原英衛・上河原奈保美・加藤尚之  
加藤 葉子・菅野俊一・菅野 寿子  
河東千枝・片岡信代・数野美つ子  
門屋 教子・加藤光子・菊地久子  
岸田千代子・木村甲子郎・岸本茂次郎  
岸 直枝・岸 芳正・菊池志げ子  
栗田行雄・工藤訓正・倉富孝子  
栗田菊枝・久木元正延・国方澄子  
栗原隆平・久保田奈美代・倉根 理一  
楠引 悦子・倉田 正子・草間洋子  
楠本よし・幸田 文一・幸田トミ  
幸田トモ子・小林 信子・小松伸弥  
小林義郎・近藤登子・駒林とめ子  
古賀和子・後藤勲藏・後藤マン  
小林京子・後藤千恵子・呉 政子  
小池トシ・後藤すみ子・越島新三郎  
越島美治代・後藤広子・小林 進  
河野 静代・小林静江・小池 脩  
小山 幸子・河野 英子・沢田園子  
佐藤つや・斉藤イサヲ・斉藤ちなみ

佐藤欣治・斉藤 英子・佐藤艶子  
佐々木綾・猿橋勝子・佐々木富美子  
指田和明・佐々木庄八・佐古政穂  
佐倉 博・境 敏秀・佐藤 和子  
斉藤長則・澤田克己・斉藤達子  
坂田フミ・先山隆司・佐藤 中  
坂部 俊幸・佐藤行彦・桜井澄子  
佐川千枝子・佐渡昌子・島津幾之進  
篠塚 清志・正田一寿子・島 和  
篠塚和子・東海林幸子・白浜光子  
柴田とら・下村節義・塩入 円祐  
品田 光江・白田政子・嶋田寛子  
下島 勝・島津和貴男・篠原 清  
篠塚裕子・白木善四郎・椎野悦子  
新 幸子・設楽 誠・島野 光  
蕭 女慈・城 妙子・鈴木繁雄  
杉本 寛子・末吉美子・鈴木隣子  
須藤 寧子・鈴木 巖・杉本とし  
菅野憲一郎・杉山卓哉・杉山尚子  
鈴木 純子・須見 照子・鈴木みし  
鈴木君子・関口喜久子・関川隆子  
関 若菜・千 哲三・側垣 恵子  
添田百枝・宗 恒雄・袖山智返子  
高橋百寿子・高橋和子・高橋里美枝  
高垣益子・高橋三代子・武田和恵  
高木 松江・田郷寿正・多田 正子  
田崎トシ子・田口キヌ・高井貞子  
高橋知愛子・伊達愛己・伊達陽子  
竹下まさあ・高槻義夫・高月正宏  
竹内 下奈・田宮 修子・田中 成子  
田宮 親・田村 晴子・平良 鉄彦  
高橋梅子・田中政信・高久キノ子  
高橋比路美・高木正人・滝みつ子  
高山鈴子・田尻昌三郎・武田 徹  
高山光男・多比良勉・千木良 清  
千秋キヨ子・千輪 慧・千輪絹子  
千葉 正子・津金修作・塚田 成子  
鶴岡 康子・月花 亮・月本 一郎  
月本伸子・角田美千穂・辻本公美子  
壺坂比路里・筒口正子・出構昭子

友田伊佐子・外山千枝子・豊田道子  
道下富信・徳重隆幸・豊川美枝子  
富岡瑞子・豊島 穆・富沢千代子  
中島由紀・中川 富士・長野 文子  
中谷孫一・直井喜美子・中川甲子  
成毛典子・中川 礼子・中山 年子  
長浜レイ・中根幸枝・永田保子  
中村克彦・中村志津子・中倉千鶴子  
中島桂子・中井淑子・中村陽二  
鍋島啓子・永沢康滋・長岡 雄  
中里 厚・中里恵美子・中沢隆一  
中山寿子・名取晴子・永雄智恵子  
中原由美子・中山 公・永井哲志  
成田京子・中西 隆・長尾 秀子  
永島美江子・成田みつ子・中村きよ枝  
二宮文乃・新美静江・西本麗子  
西田 文子・西岡 将・西平守夫  
西井華子・新谷 芳子・二宮 緑  
額田久子・野田宥二・西川 幸子  
野沢良美・野沢多都美・野沢典美  
野沢和枝・野崎成子・野津ゆきの  
野原 彰・野村俊之・馬場 ヨシ  
林 堪子・秦 和子・林 光子  
馬場紀子・峰谷イソ子・林 敬  
濱田 美・林 益美・早川好古  
林 敬一郎・原田 孝・畑下敏行  
橋本フジ子・服部睦子・林千代子  
原 つぎ・早川浩市・坂東嫩葉  
林真己子・坂堂美都子・馬場孝雄  
芳賀キセ・日根野妙子・平沢幸子  
平沼扶美子・樋口正俊・日上和子  
平岡真理子・樋川 歌・日高きみ子  
平山政美子・飛見澄子・久松日出子  
福田千里・深見利子・福永ひろ子  
府川則子・藤岡美津子・藤沢唯子  
藤岡俊樹・別森かね子・堀友之進  
星野和子・本間 義章・本田 哲子  
堀尾ふみ子・保科光平・細田富子  
本庄真澄子・松永健治・松永しげ  
松野マヨ・俣野昭一・増田富士子

真木篤子・丸山和子・町田純一  
前田寿馬・牧野アツ・前田エツ  
松尾キミ・松本知子・松村あや  
増田登志子・松本 章・松橋 理  
丸山葉子・丸茂みや子・牧野隆一  
馬嶋順子・宮崎房子・三浦眞一  
宮崎明子・宮本みち・宮川千鶴子  
三浦道子・三島祝子・宮崎 信  
宮崎よし・見須華子・宮沢 香  
三宅 泰雄・三橋神酒・宮本 馨  
宮前智恵子・宮崎 方・宮原礼子  
水谷さく・宮本 一郎・三木 英子  
満尾京子・宮川美智子・村上リョウ  
村田 憲三・村田達江・麦谷唯夫  
村林 柳・森田和子・守屋 孝子  
百瀬貞子・森川 幸江・守田文彦  
森 克彦・森神千代・森 勉  
森 敏子・諸富杏子・森下 健  
森下 明美・山下 文子・八木 薫  
山口 辰雄・柳谷 紀子・山口 銀子  
山田純子・薬師寺成子・山田三枝子  
藪本瑛子・山本徳治郎・矢島 正  
山住美津子・山川昌一・屋代英也  
山木茂子・山崎婦さ子・柳堀 弘  
柳澤博子・矢野春雄・山田カツ  
山中さだ・柳田 淑・矢島 定子  
山崎 義郎・矢島 安子・安川 透  
山崎悦子・山縣 顕子・山崎 郁子  
山瀬マサ子・山県照江・山内好子  
湯川治郎・湯川玲子・山内 静  
由布水城・良田圭子・依田幸子  
横山正子・吉田栄子・吉田喜一郎  
吉松 博・米沢 マチ・米山 杏子  
吉森 隆恵・吉田 正己・吉見 梓  
横山 貞・米沢 和彦・横山 馨  
横山祐作・若杉まり子・渡辺和子  
渡辺古都江・渡辺静子・渡辺 喬  
渡辺キヨ・脇田 昌子・渡邊 一江  
若木祐子・セントラル病院募金箱  
沢沢医院募金箱